

事務事業名	みくに龍翔館管理運営事業		事業コード	10050805121	
所管部署	みくに龍翔館	電話	82-5666	記入者名	角 明浩
事業対象	坂井市民、坂井市内外の利用者及び坂井市を訪れる観光客				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法、博物館法、博物館法施行令、文化振興基本法			
根拠例規	有	坂井市みくに龍翔館条例、坂井市みくに龍翔館施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

【事業の概要】

文化財の保護・調査と施設の充実
みくに龍翔館は開館後30年を経過しており、施設の老朽化に対応し、展示の充実化を図る。また、坂井市の博物館として資料収集・調査研究を実施し、市の文化遺産の散逸を防ぎ、地域文化遺産の保存活用を進める。

毎週水曜日と年末年始を除き、午前9時から午後5時まで開館。入館料大人300円、小人150円を徴収。施設の管理とともに資料の収集・保存・調査研究・公開を実施している。

◆施設管理
修繕料（省エネ対策他）2,308,481円、需用費（修繕料・紀要印刷費以外）7,692,942円、役務費629,834円、委託料（燻蒸以外）7,100,680円、使用料及び賃借料462,735円、備品購入費（加温機他）1,039,953円、その他負担金等28,400円

◆郷土史研究講座の開催
9/16参加者72名、3/16参加者118名
謝礼15,000円、旅費36,880円

◆資料調査研究
歴史調査謝礼費270,000円、資料調査協力者謝礼8,000円、研究紀要印刷費84,525円

◆資料保存
燻蒸庫燻蒸委託料189,000円

◆特別展・企画展事業
・企画展「真宗信仰にどう人々—坂井市域の講・道場—」
寄安道場関係資料等を展示。4/27～5/27開催、入館者1,764人。
・企画展「トリックアート作品展」6/6～9/9開催、入館者4,090人。
・特別展「藩校・私塾・寺子屋と近代教育への歩み」
丸岡藩の藩校、三国郷学所、寺子屋など江戸から明治にかけて教育資料を調査、展示。図録500部発行。10/27～11/25開催、入館者1,435人。
指通・展示品供上謝礼163,030円 調査・資料供田旅費101,560円

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	7,290	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	10,683	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	1,497	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	2,126	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	21,596	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	2.60	人	18,483	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	1.80	人	3,600	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	4.40	人	22,083	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	43,679	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			3,154	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	314		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	40,211	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	43,679	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度				
成果	みくに龍翔館入館料	目標値	4176930	達成率	4176930	達成率	4176930	達成率	4176930	達成率
		実績値	3154410	75.52	3817620	91.4	3109950		3496660	
成果	みくに龍翔館入館者数	目標値	18854	達成率	18854	達成率	18854	達成率	18854	達成率
		実績値	14530	77.07	17019	90.27	14259		16556	
活動	講座参加者数	目標値	40	達成率	40	達成率	40	達成率	40	達成率
		実績値	92	230	93	232.5	31		38	
活動	みくに龍翔館所蔵資料の特別利用数	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
		実績値	26	260	26	260	10	100	11	110
活動	みくに龍翔館所蔵資料収集数（寄贈・寄託・購入・移管）	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
		実績値	202	202	195	195	124	124	120	120
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

すぐにできる改善提案	坂井市の博物館として市全体の資料収集、調査・研究を実施していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	24年度特別展「藩校・寺子屋・私塾と近代教育への歩み— 坂井市域の教育史から —」の開催にあわせて、市内の小学校の概要悉皆調査を行い、沿革史などの関連資料、古写真などを調査した。またその成果は25年度の企画展に反映させる。		
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴う施設改修や常設展示場替えを含めた改修計画作成に着手していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の老朽化に対応しながら市全体の資料収集、調査・研究を実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	坂井市の博物館として老朽化に伴う必要な施設修繕等の計画的に実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐにできる改善提案	坂井市の博物館として市全体の資料収集、調査・研究を実施していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴う施設改修や常設展示場替えを含めた改修計画作成に着手します。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】

事務事業名	ONOメモリアル管理運営事業			事業コード	10050805126
所管部署	みくに龍翔館	電話	82-5666	記入者名	天井 和峰
事業対象	坂井市民及び利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	文化振興基本法			
根拠例規	有	坂井市ONOメモリアル条例、坂井市ONOメモリアル条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			
事業の目的・事業の概要等	故小野忠弘の住居兼アトリエの保存とその活用を図るとともに、市民の美術に関する知識の向上と美術文化の創造に寄与する。				
	冬期間の12月～翌年の2月を除き、毎週金・土・日と祝日の午前10時から午後4時まで開館。企画展時のみ有料とし高校生以上300円を徴収、施設の管理とともに旧小野邸の公開を実施している。 平成23年度は、春季には企画展として、「中野重治展」（4月8日～5月29日）を、また夏季には「うかい小夜子作品展」（6月10日～7月31日）を開催した。 企画展開催の初日には、中野重治の詩を10点選定した、正津勉氏をお招きし、鮎田彩子氏による中野重治の詩の朗読会を開催しました。芸術感性育成事業として、現代美術ジュニアセミナーを実施し、作品展示も実施しました。				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	高校生現代アートビエンナーレのような人材育成を目的とした事業開催時に地域住民のボランティアを募集、事業に参加してもらうことで将来企画運営に参画してもらえ人材を育成していきます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	企画事業の地域ボランティアに参加してもらうために、平成25年度の企画事業作成に企画監修者以外に「小野忠弘を顕彰する会」のメンバーにも加わって働き、事業実行委員会の設立準備の検討を行なった。予算要求段階より市民に関っていただけことができ一歩前進したと思われる。今後実行委員会・企画委員会に積極的に関れる人材を活用していくこととしていきます。
中長期的に取り組むべき改善提案	小野忠弘を顕彰するとともに現代美術の底辺拡大を図り情報の発信拠点となる事業の開催を通して地域ボランティアの育成に努め企画運営に参画してもらうなど、運営改善を検討していきます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	平成25年度は「小野忠弘生誕100年」の年であるので、顕彰事業を市民と協働で実施する予定である。こうしてできた組織を育成し将来の運営の主力となるよう育成してゆく。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,427	千円	1,443	千円	千円	千円		
		需用費	915	千円	721	千円	千円	千円		
		役務費	75	千円	139	千円	千円	千円		
		その他	687	千円	466	千円	千円	千円		
		事業費合計	3,104	千円	2,769	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.60 人	4,265 千円	0.60 人	4,077 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.20 人	400 千円	0.20 人	459 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.80 人	4,665 千円	0.80 人	4,536 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	7,769	千円	7,305	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	94	千円	115	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		7,675	千円	7,190	千円	千円	千円			
財源合計	7,769	千円	7,305	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	小野忠弘氏の作品展示と氏に関連する美術展や現代美術の次世代を担う人材育成を促す事業を開催します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限に活用して集客に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行の人員で事業を実施します。			
すぐに行える改善提案	高校生現代アートビエンナーレのような人材育成を目的とした事業開催時に地域ボランティアを募集、事業に参加してもらうことで将来企画運営に参加してもらえる人材を育成していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	小野忠弘を顕彰するとともに現代美術の底辺拡大を図り情報の発信拠点となる事業の開催を通して地域ボランティアの育成に努め企画運営に参画してもらうなど、運営改善を検討していきます。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
成果	ONOメモリアル入館者数	人	目標値 1707 達成率 1707	目標値 1707 達成率 1707	目標値 1707 達成率 1707	目標値 1707 達成率 1707	
		実績値 1049 達成率 61.45	実績値 707 達成率 41.42	実績値 911 達成率 53.37	実績値 1179 達成率		
成果	ONOメモリアル入館料	円	目標値 117000 達成率 117000	目標値 117000 達成率 117000	目標値 117000 達成率 117000	目標値 117000 達成率	
		実績値 94500 達成率 80.77	実績値 114900 達成率 98.21	実績値 41700 達成率	実績値 72000 達成率		
活動	ONOメモリアル有料入館者の割合	%	目標値 50 達成率 50	目標値 50 達成率 50	目標値 50 達成率 50	目標値 50 達成率 50	
		実績値 315 達成率 630	実績値 58 達成率 116	実績値 15 達成率	実績値 20 達成率		
活動	企画展の回数（主催事業及び後援事業）	回	目標値 4 達成率 4	目標値 4 達成率 4	目標値 4 達成率 4	目標値 4 達成率 4	
		実績値	実績値	実績値 4 達成率 100	実績値 4 達成率		
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値